

ダイヤ改正後起床装置 目覚まし時計に変わるなぜ？

なぜ！起床装置が変わるのか？

今のままの起床装置で何も問題がないのに、なぜ変えなければならないのでしょうか、逆に浜松乗泊時の目覚まし時計の方が問題であるように思います。

起床は全て乗務員の責任にするためか！ 会社が言う安全安定輸送は守られるのか！

起床方法が目覚まし時計に変わるという事は、全て乗務員の責任で管理しなければならないという事です。本来起床装置は深夜遅く時間差で乗泊する乗務員が、安心して睡眠するためのものであり、翌日の勤務に支障がないように確実に起床させ、遅延防止により安全安定輸送に繋がるものです。そのための自動の起床装置であり、管理者と乗務員による双方による管理ではないですか。それは国鉄時代から、乗務員の起床遅延防止対策ではなかったのですか。それが乗務員だけに管理することは、遅延事故の可能性があるので。

管理者の管理を軽減のため？経済的なため？

管理者の管理責任を回避するためなのですか。それとも経済的なものなのですか。安全安定輸送のためには、起床方法を乗務員個人に任せると言う事は列車運行の危険性があります。

乗務員の起床は会社責任である！

乗務員は、睡眠時間が短い乗泊箇所があります。長時間勤務してきて寝具の交換、起床装置の設定等と疲れた身体で行わなければなりません。そのため、起床時刻の設定間違いや未設定等が起きる可能性がでてきます。このようなことがないために会社は、自動起床装置を設置してきたのではないですか。

会社は、乗務員の起床に責任があり、起床させることを簡素化するようなことはあってはなりません。会社は社員の出勤遅延に対して、様々な対策を行っているのと同じ事ではないですか。それが安全安定輸送に繋がる事です。起床装置を廃止することは、お客様に大変ご迷惑をかけることとなります。それをさせないための、起床装置であり、管理者が責任を持って管理するものではありませんか。

**国鉄時代から続いている起床装置は遅延防止であり、安全安定輸送には絶対に必要である！
鉄道会社は起床の管理を乗務員だけに任せてはならない！**